



7/24 児童たちが語りを披露 菊池市童話発表大会

菊池市童話発表大会が七城公民館講堂で開催され、市内小学校を代表して16人の児童が発表しました。この大会は、子どもたちが本に親しむ機会の創出と豊かな人間性の育成を目的として菊池市教育委員会が毎年開催しています。優秀賞には、吉田和香さん（七城小3年）、右田彩さん（泗水小5年）、原田拓くん（菊池北小6年）が選ばれました。3人は市の代表として菊陽町図書館ホールで開催された菊池郡市童話発表大会に出場しました。



受賞した児童。左から吉田さん、右田さん、原田くん

7/23 世界へ羽ばたけ ボクシング全国出場

泗水中学校（岩根俊治校長）の森武蔵さん（3年）と古庄海光さん（2年）がボクシング15歳以下の全国大会出場が決まり、市役所を表敬訪問しました。2人は6月に熊本市であった全日本大会西部地区予選で優勝。9月に東京の後楽園ホールで行われた全国大会に出場し、森さんが優勝の栄冠を勝ち取りました。森さんは「プロの世界で一番になりたい」、古庄さんは「オリンピック出場を目指します」と抱負を語りました。



左から古庄さん、江頭市長、森さん

7月 ふるさとの川を美しく ウナギの稚魚を放流

菊池川漁業協同組合（富田正剛組合長）泗水地区の組合員4人が、合志川の環境改善を目的にウナギの稚魚300匹を放流しました。

日本ウナギは近年、絶滅危惧種に指定されるなど数が激減していることから、繁殖を促進するために放流。組合員の皆さんは「今後も放流を続けて合志川の環境改善につなげていきたい」と話していました。同組合ではこのほか、アユやカニの放流も行っています。



ウナギの稚魚を放流する組合員

7月 上住吉（桜）区が制覇 泗水町ナイターソフト大会

泗水町ナイターソフトボール大会は泗水グラウンドで開催され、泗水町内の各行政区から27チームが参加し、5日間にわたって熱戦を繰り広げました。試合中、足がもつれて転倒する人や、ホームランを打って祝福を受ける人もいました。

上位の結果は次のとおりです。

優勝 上住吉（桜）区
2位 永区
3位 富の原東区、福本一区



優勝した上住吉（桜）区

7/27 外来魚駆除で環境保全 ブラックバス釣り上げ大会

竜門ダムフェスタに合わせ、第8回ブラックバス釣り上げ大会が竜門ダム湖周辺であり、参加した181人が釣果を競いました。ワカサギなどの在来種を捕食するブラックバスなどの外来魚を駆除し、生態系を守ることを目的に竜門ダム安全協議会（川口研五会長）が主催。魚の長さや匹数で競われ、最大53匹（大会新記録）、合計98匹の外来魚が釣り上げられました。釣り上げた外来魚はその場で調理され、来場者に無料で振る舞われました。



竜門ダム湖で外来魚を釣る参加者

7/25 株式会社フリジポートと 立地協定を締結しました

食料品製造・販売の株式会社フリジポート（東京）が、森北工業団地内に工場を増設することが決まり、立地協定調印式が市役所でありました。

新工場は現工場の隣接地に増設し、製造ラインを拡充する計画。平成27年1月に着工、総投資額は約20億円を予定しており、新たに150人を雇用する予定です。新工場では大手コンビニ向けの弁当やサンドイッチなどを生産し、来年10月の操業開始を目指しています。



協定後に握手を交わす熊本県新産業局奥園惣幸局長㊤、大賀恵社長㊤、江頭市長㊤

7/21 くまもと・みんなの川と海 づくりデー

熊本県下一斉清掃イベント「くまもと・みんなの川と海づくりデー」が、七城総合グラウンド、鴨川河畔公園周辺と菊池川周辺の河川敷沿いで行われました。

早朝にもかかわらず、子どもから大人まで市民や各団体から約220人が作業に参加。河川沿いを約7キロにわたってごみを拾いを行い、額に汗を流しました。今回の作業では40kgの袋で可燃40袋、不燃20袋のごみが集まりました。



ごみ拾いをする参加者

7/15 菊池市体育協会 スポーツ功労者表彰式

スポーツ功労者表彰式が七城公民館であり、昨年度優秀な成績を収めた選手15人と6団体が表彰されました。菊池から世界へ羽ばたく選手が出てくるのが期待されます。

表彰者は次のとおりです。（敬称略）

優秀者表彰
【陸上】茂田真由、大塚 舞
【バドミントン】中川詩紀、前田華蓮、申斐穂野香、赤星紀理子、山本巧海、田中湧士
【水泳】橋本葉月、石口 幹、神崎百恵
【柔道】佐々夏来
【少林寺拳法】高山晃太郎、阿藤品祐輝
【グラウンドゴルフ】 永上湧喜

優秀団体表彰
菊池北中学校陸上部
菊池ジュニアバレーボールクラブ
泗水小学校剣道部
隈府小学校 剣道部
少林寺拳法菊池道院
菊池市銃剣道連盟



8/1 「絶対勝つぞ!」中学生が決意表明 全国大会・九州大会出場報告会

県中体連などで優秀な成績を収め、全国大会や九州大会への出場を決めた市内の中学生が、市役所を表敬訪問しました。江頭市長が「これまでの努力に誇りを持って自分を信じて頑張ってください」とあいさつ。陸上1年女子100㍓で優勝した菊池北中の大塚舞さんは「九州大会では練習の成果を出し切り入賞して帰りたい」と抱負を述べました。出場選手は次のとおりです。(敬称略)

▼菊池南中学校

陸上共通男子4×100㍓2位：境浩佑、櫛川直希、堤健太郎、永山勝也、福田和広、吉丸直貴、梶原康平

共通男子200㍓2位：櫛川直希

バドミントン男子個人2位：田中湧士

バドミントン女子個人3位：申斐穂野香

剣道代表女子個人3位：田中咲妃

空手男子団体組手2位

▼七城中学校

空手道女子団体形優勝

▼菊池北中学校

テニス女子団体3位

テニス女子個人(ダブルス)3位：樋口里沙、浦田和里
陸上1年女子100㍓優勝：大塚舞

▼泗水中学校

ソフトテニス男子個人(ダブルス)4位：石橋廉、荒木瞭

柔道男子50㍓級優勝：堀田拓

柔道男子60㍓級優勝：富田玲司

柔道女子44㍓級2位：佐々夏来

水泳女子200㍓個人メドレー優勝・200㍓自由形2位：神崎華恵



全国・九州大会に出場する中学生たち

8/2～3 泗水が優勝 熊日レディースバレー大会

コスギ不動産杯第12回熊日レディースバレーボール大会は、菊池総合体育館で開催され、本市から出場した「泗水」が優勝しました。

大会には33チーム約400人が参加。4部門に分かれて行われ、泗水はレベルが高いチームが集まるAブロックで優勝しました。井山千秋主将は「新メンバー加入でチームとして更に飛躍できました。みんなで心を一つにしてボールをつなぎました」と話しました。



優勝した「泗水」の皆さん

8/2 泗水小剣道部が連覇! 南阿蘇名水旗剣道大会

第10回南阿蘇名水旗剣道大会は、南阿蘇村立白水小学校で開催され、泗水小剣道部が2連覇を達成しました。

大会には県内の小学生46チーム、約250人が出場。強豪がひしめくなか、前回優勝のプレッシャーを跳ね除け栄冠を手にした。6年生の大賀唯くんは「みんなで力を合わせて頑張りました。優勝に貢献できてとてもうれしいです」と笑顔を見せました。



優勝した泗水小剣道部

7/31 全日本ボート代表選手が 菊池市で合宿

ボート日本代表選手とスタッフ約20人が市役所を表敬訪問しました。一行は8月にオランダで開催されたボート世界選手権に向け、竜門ダムの斑蛇口湖ボート場で強化合宿を実施。7月28日～8月15日までの滞在し、世界一へ向け練習に励みました。大林邦彦コーチは「ボート場も温泉も素晴らしい、ご飯もおいしいので良い練習ができる」と環境の良さを強調。江頭市長は「皆さんの活躍を祈っています。頑張ってください」と激励しました。



市役所を訪問したボート日本代表選手

7/30 笑顔の花を咲かせよう! 花房地区オリジナル盆踊り



地域に根差した盆踊りで花房夏祭りの参加者に楽しんでもらおうと、地域住民がオリジナルの盆踊りを制作しました。この日は練習と歌の録音があり、吉田睦代さん(植古閑)がつくった曲に合わせて覚えての振り付けを練習。吉田さんは「地元へ愛着を持ってもらえたらと思い、花房地域の歴史や文化を歌詞に取り入れました。多くの人に踊っていただき、笑顔の花がたくさん咲けばうれしい」と話しました。



花房小体育館で盆踊りの練習をする住民の皆さん

8月 地域の安全は地域で守る 交通安全看板設置

児童が通学するときの安全を守ろうと、菊之池校区の区長会が通学路などに安全運転を呼び掛ける看板を設置しました。ケータイを触りながら運転している人や、スピードを出している車が増えているという声から対策を検討。農道や通学路沿いの28カ所に看板を設置しました。同区長会の光永明徳会長は「『地域の安全は地域で守ろう』という思いで設置しました。ドライバーには安全運転を心掛けてほしい」と思いを述べました。



通学路に設置された看板。通学中の児童と交通指導員

8/1 アグリフューチャージャパン と連携協定を締結しました

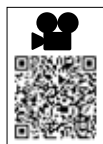
日本農業経営大学校(東京)を運営する一般社団法人アグリフューチャージャパンとの連携協定調印式が市役所でありました。同校の持つノウハウを生かし、農業の担い手を育成することなどを目的に連携を図るもので、全国初の取り組みです。今後、市内でセミナーを開くなど計画も進んでいます。調印式に出席した同法人の戸山章弘常務理事は「今回の連携により現場に近い実践的な人材育成を行っていききたい」と語りました。



協定調印後に握手する江頭市長と戸山常務理事



8/14 夜空を彩った1.5尺玉 しすい孔子公園夏まつり



しすい孔子公園夏まつりは、孔子公園で開催され、多くの来場者でにぎわいました。ステージでは子どもたちがヒップホップや新体操など華麗なダンスを披露。フラダンスや生バンド演奏で会場は盛り上がりしました。フィナーレの花火大会では数年ぶりに1.5尺玉の花火が打ち上げられ、集まった観客はその大きさと迫力に歓声を上げながら、夜空いっぱいに広がる大輪の花に見入っていました。



AR
祀聖亭を照らし出す色とりどりの花火

8/12 菊池女子高生の3人 ファッション甲子園に出場

菊池女子高2年生、中嶋未来さん、重本優希さん、村田楓華さんの3人が、8月24日に青森県で開催された全国高校ファッションデザイン選手権大会に出場しました。同校の出場は13年ぶり2回目。この大会は「ファッション甲子園」と呼ばれ、全国の高校と専門学校から3,547点の応募があり最終選考で35点の中に残りました。

制作したドレスのテーマは「バレボール」。クラスマッチの様子からインスピレーションを受けてデザインしました。



製作中のドレスをまとう中嶋さん⑤、重本さん⑥
大会では入賞を果たしました

8/3 無病息災・五穀豊穡 菊池市今で風鎮祭

今区で風鎮祭が行われました。風鎮祭は台風が近付く時期に行われることが多く、「風止め」ともいわれます。農作物の豊作を祈願して行われる行事の一つで、今区の場合7月の「御願立て」、8月の「風鎮祭」、9月の「御願解き」が一連の流れとなっています。

風（台風）と同時に、災厄や病気などが集落のなかに入ってこないことを祈願する意味合いも含まれています。



奉納品として製作するミニチュアの蓑と笠。本物と同じくらい精巧に作られます

8/3 子どもたちが熱唱 きくち童謡唱歌祭

きくち童謡唱歌祭は、菊池市文化会館で開催され、67組（100人）が出場しました。出場した子どもたちは少し緊張しながらも、マイクを使わない澄んだ歌声で会場を包み込み、応援に来ていた家族や友だちを童謡の世界に引き込んでいました。

上位の結果は次のとおりです。（敬称略）
宮本トミヨ賞 増山菜々（限府小5年）／曲「小さい秋みつけた」
教育長賞 梅田音央（限府小3年）／曲「小鹿のバンビ」



受賞した増山さん⑤と梅田さん⑥

8/16 菊池一族物語 市民劇団旗揚げ式

菊池一族をテーマとした創作劇を演じる市民劇団の旗揚げ式が市役所であり、江頭実市長をはじめとする出演者やスタッフなど約100人が参加し団結を誓いました。

創作劇のタイトルは「菊池一族物語『蘇れ菊池のころ』」文教菊池の再興をめざして。11月29日（土）・30日（日）に開催予定の「菊池一族歴史交流シンポジウム」で披露する予定で、出演者の皆さんは現在練習に励んでいます。



公演の成功を祈って氣勢を上げる参加者

8/15 平成26年度 菊池市戦没者追悼式

平成26年度菊池市戦没者追悼式（菊池市英霊顕彰会主催）が菊池市文化会館で開催されました。遺族や市民約250人が出席し、ラジオから流れる天皇陛下のお言葉を拝聴した後、出席者全員で献花を行いました。

誓いの言葉では、戦没者に思いをはせながら、中村穂乃花さん（七城小4年）と村上蓮くん（七城小3年）が、「世界中の人々が平和で笑顔で暮らせるよう本当の平和を築いていきます」と誓いました。



誓いの言葉を述べる中村さん⑤と村上くん⑥

8/4 第25回 子ども囲碁将棋大会

第25回子ども囲碁・将棋大会が旭志公民館で行われ、市内の小・中学生が大勢参加し熱戦を繰り上げました。成績は次のとおりです。（敬称略）

【囲碁の部】
優勝 石口閑理（泗水小4年）、2位 大久保春翔（花房小4年）、3位 北原大雅（花房小4年）

【将棋の部】
優勝 石口閑理（泗水小4年）、2位 松岡怜（菊池小4年）、3位 前田瑞穂（菊池北小4年）



真剣な表情で対戦する子どもたち

8/3 熊本県学校茶道部 合同お茶会

第11回表千家学校茶道部合同お茶会が熊本市白川公園お茶室で開かれました。会には学生や一般の人など368人が参加。旭志からは公民館生涯学習講座の「子どもお茶教室」の会員など18人が参加しました。

表千家の指導を受けた子どもたちは、薄茶席、立礼席で伝統作法を体験。歴史ある建物の中で、小さい手で茶碗を回しながら、お茶会を楽しんでいました。



お茶会に参加した子どもお茶教室の会員